

渡辺則芳教授 略歴

- 昭和21年 3月 福島県いわき市に生まれる
- 昭和43年 3月 早稲田大学第一法学部卒業
- 昭和45年 3月 早稲田大学大学院法学研究科修士課程修了
- 昭和51年 3月 早稲田大学大学院法学研究科博士課程修了
- 昭和51年 4月 国士舘大学法学部専任講師
- 昭和53年 4月 国学院大学法学部非常勤講師（昭和55年3月まで）
愛知学院大学法学部非常勤講師（昭和54年3月まで）
- 昭和56年 4月 国士舘大学法学部助教授
- 昭和62年 4月 国士舘大学法学部教授（現在に至る）
早稲田大学法学部非常勤講師（平成4年3月まで）
- 平成4年 8月 米国カリフォルニア大学ヘイスティング校ロースクール客員教授
（平成5年7月まで）
- 平成6年 4月 早稲田大学法学部非常勤講師（平成26年3月まで）
- 平成7年 4月 国士舘大学大学院法学研究科教授（現在に至る）
国士舘大学教務部長（平成9年10月まで）
- 平成10年 4月 国士舘大学法学部長（平成18年3月まで）
- 平成14年 8月 福島県いわき市 曹洞宗性源寺住職
- 平成15年 3月 弁護士登録（第二東京弁護士会）
- 平成16年 5月 世田谷区役所情報公開・個人情報保護委員会会長
（平成26年4月まで）
- 平成17年 5月 目黒区役所職員倫理委員会会長（現在に至る）
- 平成18年 4月 国士舘大学大学院法学研究科委員長（平成22年3月まで）
- 平成22年 4月 国士舘大学法学部比較法制研究所所長（平成26年3月まで）

渡辺則芳教授 主要業績目録

I 著書

- ・「犯罪観の研究」(岩井弘融氏らと共著)
(昭和54年)
- ・「刑法各論」(斎藤誠二氏らと共著)
(昭和61年)
- ・「刑法演習Ⅱ(各論)」(岡野光雄氏らと共著)
(昭和62年)
- ・「法と社会(上)」(大矢息生氏らと共著)
(昭和63年)
- ・「ホーンブック刑法各論」(田宮裕氏らと共著)
(平成2年)
- ・「アメリカ少年司法の再生」(翻訳)
(平成8年)
- ・「Domestic Violence a global view」(R. W. Randol 氏らと共著)
(平成14年)

II 論文

- ・「少年法の基礎理論」
(昭和45年) 早稲田大学大学院法研論集6号
- ・「米国少年裁判所におけるパレンス・パトリエとデュー・プロセス」
(昭和50年) 早稲田大学大学院法研論集11号
- ・「米国少年裁判における弁護士の役割」
(昭和51年) 早稲田法学会誌26号
- ・「被収容者の処遇——米国における判例を中心として——上」
(昭和52年) 国士館法学9号
- ・「刑事司法専門家の犯罪統制についての視座—3—刑事政策上の諸意見の内容分析」
(西村春夫氏と共著)
(昭和52年) 科学警察研究所報告 防犯少年編18巻2号
- ・「パレンス・パトリエ思想の再検討」
(昭和55年) 国士館大学比較法制研究4号

- ・「少年法改正と少年問題——改正の必要性の論拠について」
(昭和61年) 国士館大学比較法制研究 9号

- ・「逃走の罪の一問題——「法令により拘禁された者」の範囲 (法と社会-上-)」
(昭和63年) 国士館法学 20号
- ・「警察と地域社会——アメリカにおけるコミュニティ・ポリシングの試みについて-1-」(岡西賢治氏と共著)
(平成5年) 国士館大学比較法制研究 16号
- ・「警察と地域社会——アメリカにおけるコミュニティ・ポリシングの試みについて-2-」(岡西賢治氏と共著)
(平成6年) 国士館大学比較法制研究 17号
- ・「米国における未成年犯罪者の処遇および処遇の観念の変遷」
(平成6年) 国士館法学 26号
- ・「少年の権利の保障」
(平成7年) 下村康正先生古希祝賀「刑事法学の新動向」(下)
- ・「連邦公設弁護人サービス情勢報告」
(平成8年) 国士館法学 28号
- ・「少年保護手続への米国パブリック・ディフェンダー類似の制度の導入にむけて」
(平成9年) リーガル・エイド研究 2号
- ・「少年保護手続におけるパレンス・パトリエ思想再考——シャフツベリー判決を参考として」
(平成15年) 早稲田法学 78巻3号
- ・「日本の少年法と少年問題」
(平成19年) 国士館法学 39号

Ⅲ その他

- ・「行刑立法と行刑改革」(西原春夫氏らと共訳)
(昭和51年) 矯正資料 40号
- ・「長野市立小学校教師体罰事件」(判例研究)
(昭和58年) 国士館法学 14号
- ・「コンピューター関連犯罪立法についての意見」(法務省諮問事項に対する共同研究)
(昭和61年)

- ・「ワイアット対スティクニー事件 (Wyatt v. Stickney, 325 F. Supp. 781)」(翻訳)
(昭和62年) 国士館大学比較法制研究 10 号
- ・「ワイアット対アダーホルト事件 (Wyatt v. Aderholt, 503 F. 2d 1305) - 1 -」(翻訳)
(昭和63年) 国士館大学比較法制研究 11 号
- ・「ワイアット対アダーホルト事件 (Wyatt v. Aderholt, 503 F. 2d 1305) - 2 ~ 5 -」
(翻訳)
(平成元年) 国士館大学比較法制研究 12 号
- ・「現代の少年をとりまく状況と問題 (資料)」
(平成2年) 国士館法学 22 号
- ・「米国少年施設視察報告(1)」
(平成6年) JCCD70 号
- ・「米国少年施設視察報告(2)」
(平成7年) JCCD71 号
- ・「資料 米国の少年司法 : 少年保護の質の改善」(翻訳)
(平成7年) 早稲田大学比較法学 28 巻 2 号
- ・「シンポジウム宗教と被害者 (要旨)」
(平成9年) 被害者学研究 7 号
- ・「資料 米国イリノイ州クック郡少年裁判所開所記念式プログラム」
(平成13年) 国士館法学 33 号
- ・「社会安全のためのトレーサビリティ 連載のまとめと今後の展望」
(平成21年) 画像電子学会誌 38 巻 5 号
- ・「虞犯少年、触法少年、犯罪少年 (用語解説 (分担執筆))」
(平成22年) 小学館日本大百科全書ニッポニア
- ・「講演 日本の少年法と少年院」
(平成23年) 国士館大学比較法制研究 34 号
- ・「比較法制研究所新プロジェクトについて」
(平成23年) 国士館大学比較法制研究 34 号
- ・「更生保護施設参観記 (その5) — 更生保護と福祉のまとめに代えて —」
(平成23年) 更新会だより 56 号

IV 学会発表・講演

- ・「刑事司法専門家集団の有する政策的思考の分析」(西村春夫氏と共同発表)
(昭和51年) 日本犯罪社会学会

- ・「犯罪と非犯罪の境界」(西村春夫氏と共同発表)
(昭和52年) 日本犯罪社会学会
- ・「刑事司法ボランティアの犯罪統制に関する意識」(高橋良彰氏らと共同発表)
(昭和52年) 日本犯罪社会学会
- ・「少年問題と対策」
(昭和63年) 国士舘大学公開講座
- ・「アメリカにおける未成年犯罪者の処遇」
(平成5年) 国士舘大学公開講座
- ・「少年の再審問題——少年の冤罪をどう晴らすか——」
(平成5年) 犯罪と非行に関する全国評議会18回総会・シンポジウム
- ・「宗教と被害者」
(平成8年) 日本被害者学会7回大会シンポジウム
- ・「いじめと学校問題」
(平成16年) いわき明星大学公開講座
- ・「いじめ問題」
(平成17年) 世田谷老人大学講演
- ・「日本の少年法」
(平成17年) 中国武漢大学国際シンポジウム
- ・「情報化社会における監視と安全と人権」
(平成20年) 画像電子学会2008年次大会
- ・「盗撮と人権」
(平成20年) 第2回安全な暮らしのための情報技術研究会
- ・「インターネットアクセス規制の立法上の問題」
(平成21年) 第3回安全な暮らしのための情報技術研究会
- ・「グーグルのプライバシー訴訟」
(平成21年) 画像電子学会2009年次大会
- ・「日本の少年法と少年院」
(平成22年) 中国中央司法警察学院講演会
- ・「少年非行からする教育の展望」
(平成25年) 国士舘大学シニアスクール講演
- ・「寺院をとりまく法律問題」
(平成26年) 福島県浄土宗年次総会講演